

児童,青年期の病気

思春期・青少年の精神疾患

1. 発達または器質性：
発達症（自閉症スペクトラム症, 注意欠如多動症）
てんかん（周期性不機嫌症, 他）
2. 内因性： 統合失調症, 気分障害
3. 心因性： 適応障害, パニック症, 強迫症
解離性同一性障害, 摂食症, PTSD, 依存症
4. 人格障害： 境界性人格障害
5. その他： 家庭生活の諸問題（虐待, 養育拒否, 崩壊家庭）
愛着障害, 素行症, 性同一性障害

児童青年期疾患分類 ICD10

F7知的障害

F8心理的発達障害

F81学習障害

F84広汎性発達障害－自閉症

アスペルガーなど

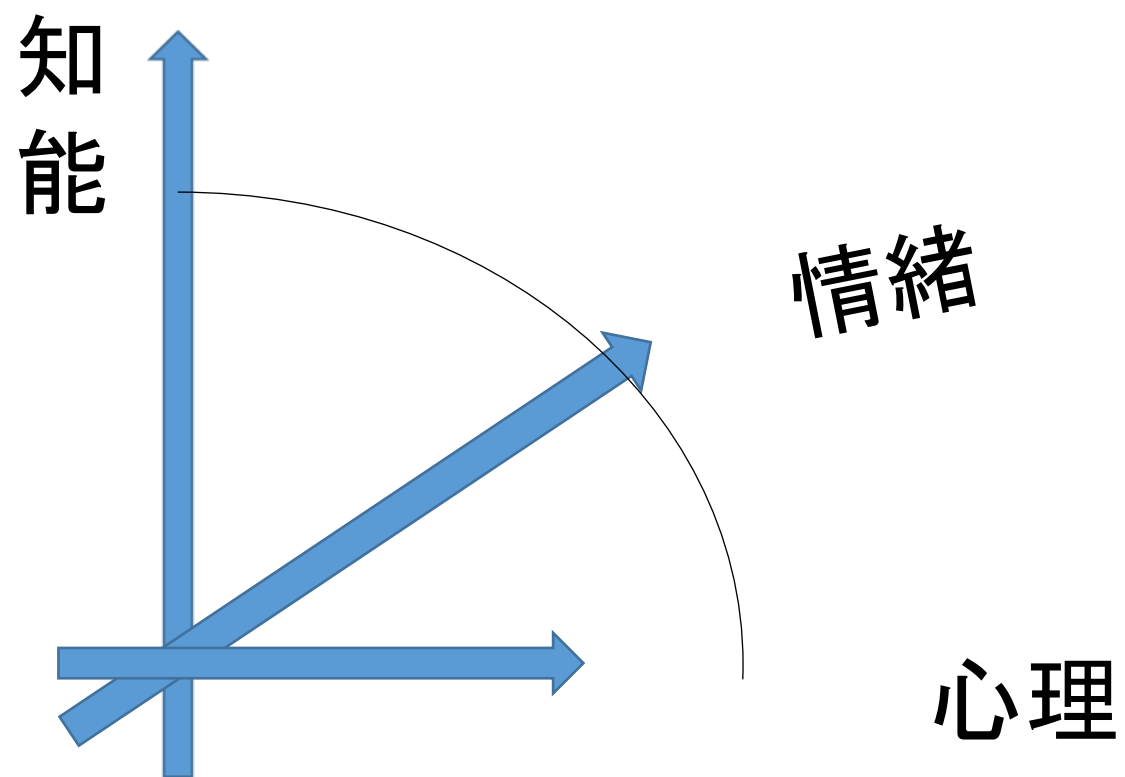
F9小児期および青年期に通常発症する行動

および情緒障害

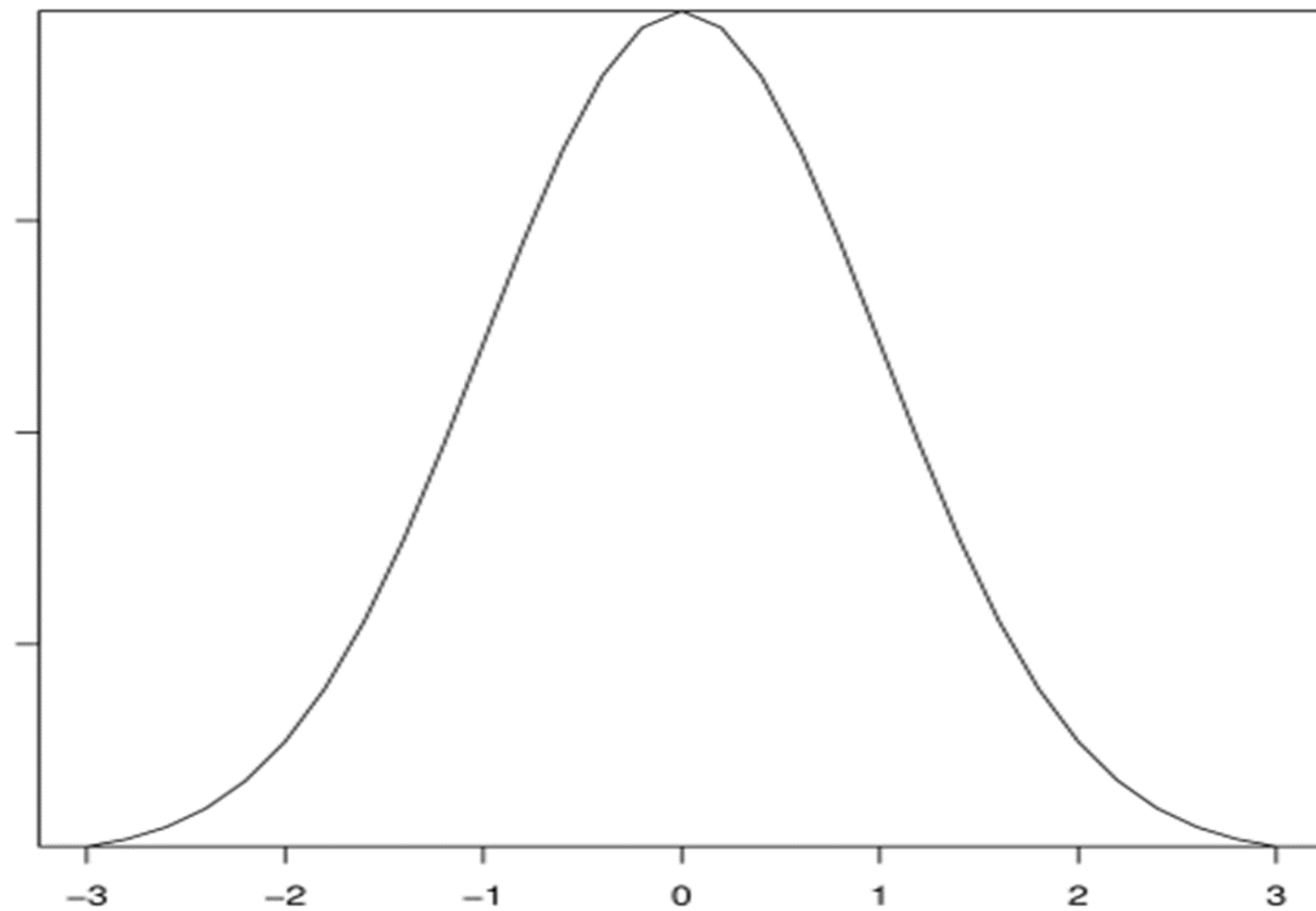
F90多動性障害

F91行為障害

発達とその個人差



正規分布



発達障害の診断名

1. 知的発達
知的発達障害(精神遅滞)
学習症(LD)
2. 心理発達
自閉症スペクトラム症(ASD)
トウレット症候群
3. 情緒発達
注意欠如・多動症(ADHD)
4. その他
行為症
(性同一性障害)

自閉症スペクトラム症（ASD）の診断

1. 社会的相互交渉の質の異常
2. 言語的・非言語的コミュニケーションの異常
3. 反復的・常道的行動な行動パターンと関心の広がり著しい欠乏

現場で簡単に理解するためなら

コミュニケーション障害

同一性の保持

感覚過敏

ASDに対する対応

1. 一方的に障害と捉えない
個性か障害か,社会環境の許容度に関係する
2. ASDの特性を延ばし,生かす考えも持つ
3. 大人になった時の就労を見据えた養育が必要
4. 家族に対する支援を忘れずに

学習症(LD)

「学習症とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、読む、書く、計算するまたは推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである

学習症は、その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害、聴覚障害、知的障害、情緒障害などの障害や、環境的要因が直接の原因となるものではない」

1999年 文部省

限局性学習 (SLD)

1. 読字障害 (4%)
視空間認知, 同時処理などの問題
2. 書字表出障害
形態把握, 記憶, 目と手の協応などの問題
3. 算数障害 (1%)
暗算, 用語の概念, 図形理解などの問題

注意欠如・多動症(ADHD)

1. 不注意
2. 多動性・衝動性
3. 傷つきやすさ

スクラム福井

福井県にお住まいの発達症（自閉症スペクトラム症・注意欠如／多動症・学習症など）のある方とそのご家族が安定して地域で生活できるように支援するセンター.

相談支援,療育支援,就労支援,普及啓発および研修の4つの柱から事業を展開.

地域若者サポートステーション(愛称:「サポステ」)

働くことに悩みを抱えている15歳～39歳までの若者に対し,キャリアコンサルタントなどによる専門的な相談,コミュニケーションプログラムなどによるステップアップ,協力企業への作業体験などにより,就労に向けた支援を行っています.

また,令和2年度より40歳代の無業の方への支援が拡大されました.

「身近に相談できる機関」として,全国の方が利用しやすいよう全ての都道府県に必ず設置しています.(全国177箇所)

サポステは,働くことに踏み出したい方とじっくりと向き合い,本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し,「職場定着するまで」を全面的にバックアップします.

サポステ福井 地域若者サポートステーション福井

ブランク,つまづき,就活に踏み出せない.

サポステは,そんなあなたに合った

{働く準備運動}ができる場所です

悩みを抱え込まずに,私たちと一緒に考えて行きませんか?

保護者・ご家族からの相談にも応じます.

対象者

サポステ対象者 通学や就業をしていない,義務教育終了後の15歳～39歳
までの若者,またはその保護者・ご家族の方

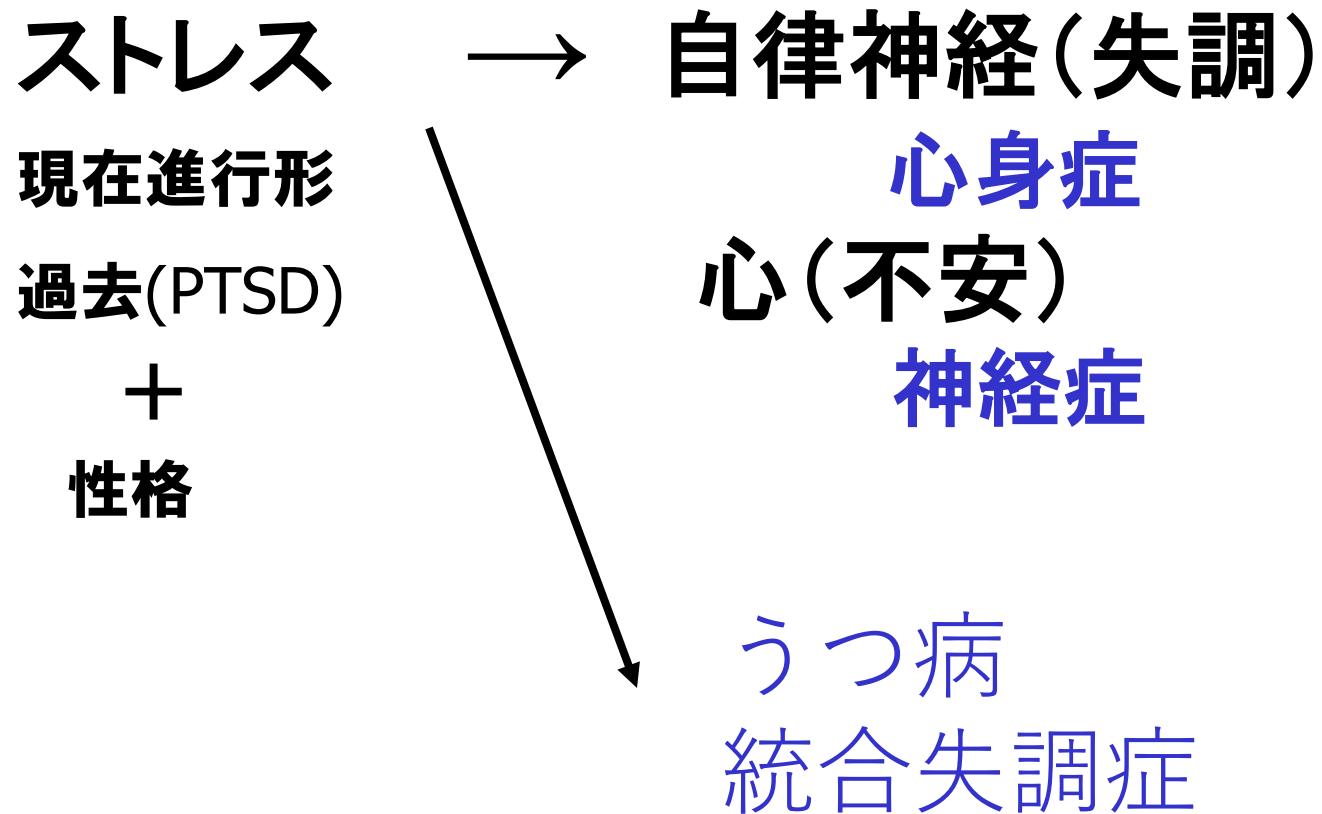
サポステ・プラス対象者 40～49歳で,仕事に就いていない人とそのご家族

サヴァン症候群

イギリスの医師ジョン・ランドン・ダウンは1887年,膨大な量の書籍を1回読んだだけですべて記憶し,さらにそれをすべて逆から読み上げるという,常軌を逸した記憶力を持った男性を報告した.その天才的な能力を持つにもかかわらず,通常の学習能力は普通である彼をidiot savant(賢い白痴)と名付けた.

1. カレンダー計算
2. 映像記憶
3. 書籍,電話帳,円周率
4. 音楽

ストレスの構図



ストレスはどこへ行く

I. 自律神経の失調

心身症 ストレス潰瘍,潰瘍性大腸炎,
円形脱毛症,アトピー,喘息,
免疫機能障害

II. 心の不安

神経症(こだわり病)
強迫神経症,パニック
中毒乱用,摂食障害

問題行動の内容（症状）

- 引きこもり
- 自殺
- 自傷（リスカ）
- 暴力,殺人（個人,集団）
- ストーカー
- その他 摂食障害（拒食,過食,異食）

強烈なストレスに傷ついたとき

- 比較的正常な反応
逃避,攻撃,心身症
- こだわり(強迫)
- 自傷
急性と慢性
- 解離

解離のメカニズム

期待に答えようとする自分と現実の
解離

挫折という外傷

引きこもるか,解離していくか

摂食症

- 神経性無食欲症
自己身体像(ボディイメージ)のゆがみ
- 神経性過食症(神経性大食症)
排出型 低カリウム血症,齲齒(むし歯),耳下腺腫大

BMI (Body Mass Index)

体重と身長から算出される肥満度を表す体格指数. 子供には別の指数が存在するが, 成人ではBMIが国際的な指標として用いられている.

- 成人

日本肥満学会の判定基準

BMI値	判定
18.5未満	低体重(痩せ型)
18.5～25未満	普通体重
25～30未満	肥満(1度)
30～35未満	肥満(2度)
35～40未満	肥満(3度)
40以上	肥満(4度)

世界保健機関(WHO)の判定基準

BMI値	判定
16未満	痩せすぎ
16.00～16.99以下	痩せ
17.00～18.49以下	痩せぎみ
18.50～24.99以下	普通体重
25.00～29.99以下	前肥満
30.00～34.99以下	肥満(1度)
35.00～39.99以下	肥満(2度)
40.00以上	肥満(3度)

人格障害

人格障害

- 人格障害は精神障害か？
- 責任能力はあるか？

人格障害の定義（診断）

- 内的体験や行動の持続的パターンであって、その個人の文化の期待からきわめて大きく逸脱したもの。
 - (1) 認知（例えば、自己、他者、出来事の知覚と解釈の方法）
 - (2) 感情（例えば、感情的反応の範囲、強度、不安定性、適切さなど）
 - (3) 対人的な機能
 - (4) 衝動制御

人格障害の分類

A, 奇妙で風変わりな群

妄想性, 分裂病質性, 分裂病型

B, 演技的, 活動的で不安定な群

反社会性, 境界性, 演技性, 自己愛性

C, 不安におびえている群

回避性, 依存性, 強迫性, 受動攻撃性

境界性パーソナリティ障害 (BPD) ボーダーラインパーソナリティ症

1. 見捨てられ不安
2. 自己像の不安定
3. 相手の理想化とこきおろし

感情不安定, 慢性的空虚感, 激しい怒り, 繰り返される自傷・
自殺など

聞いていただいて
ありがとうございました。

松原六郎

